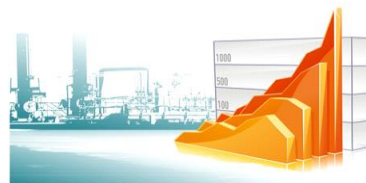


ぎふ経済レポート



令和5年7月分
岐阜県商工労働部

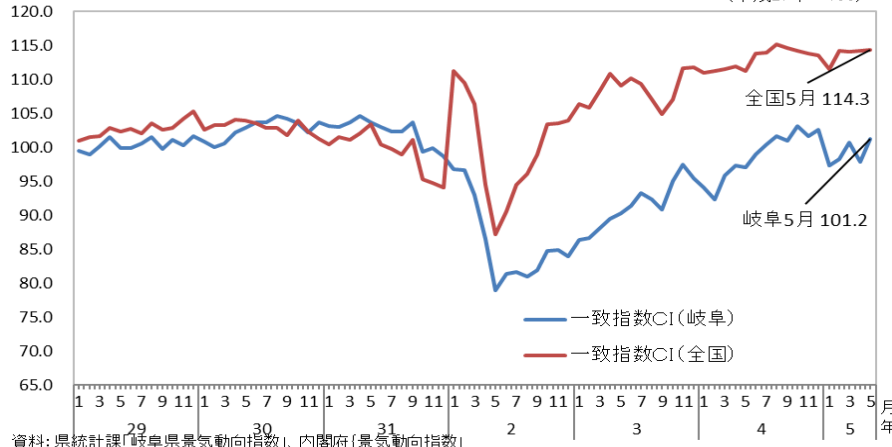
※企業等へのヒアリングは7月25日～27日を中心に実施し、8月10日時点で作成。

景気動向

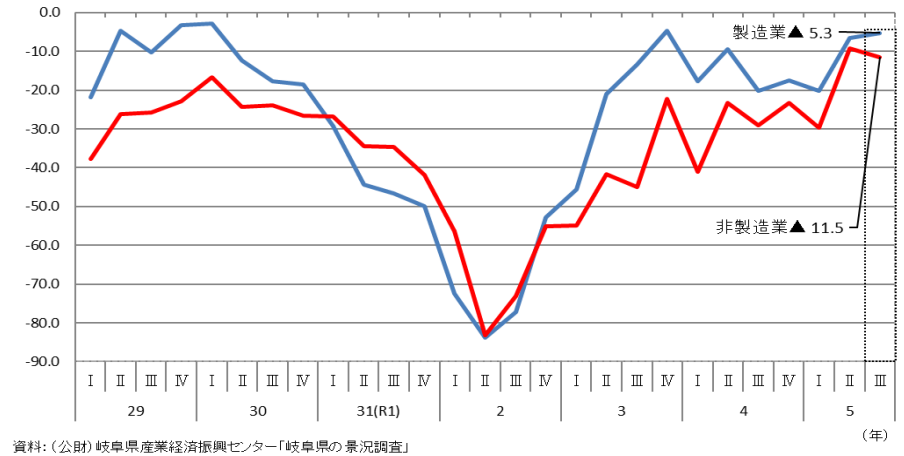
○5月の景気動向指数(一致指数)は、101.2
 で前月比3.3ポイント上昇となった。
 ○6月の県内中小企業の景況感は、▲14で前
 月比▲6ポイントとなった。

○7-9月期の景況DI見通しは、製造業で前期比
 1.3ポイント上昇、非製造業で同▲2.3ポイント
 となった。売上高DI見通しは、製造業で前期
 比▲5.7ポイント、非製造業で同▲3.5ポイント
 となった。

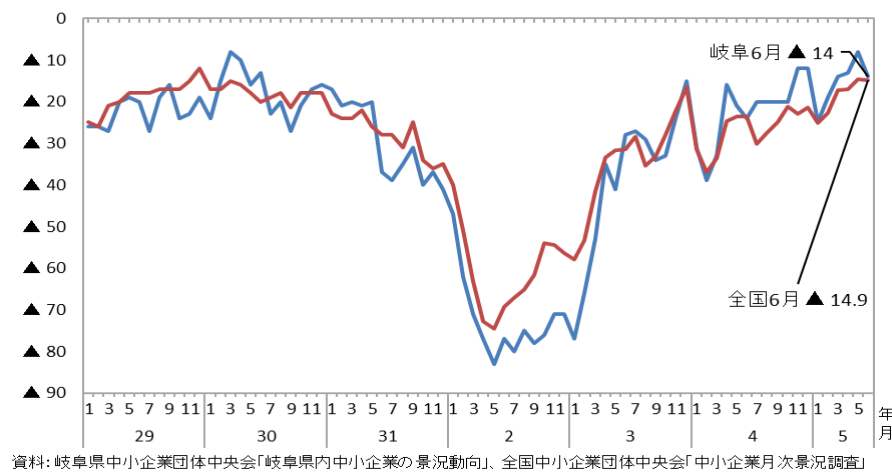
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移 (平成27年=100)



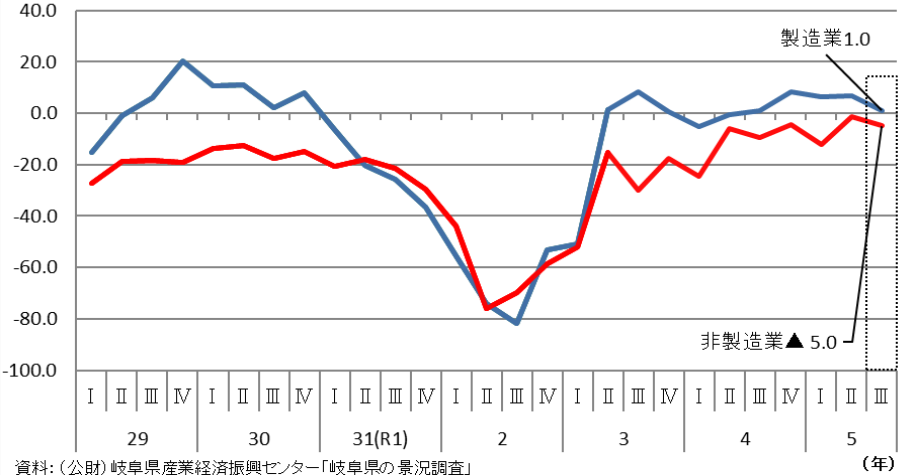
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移



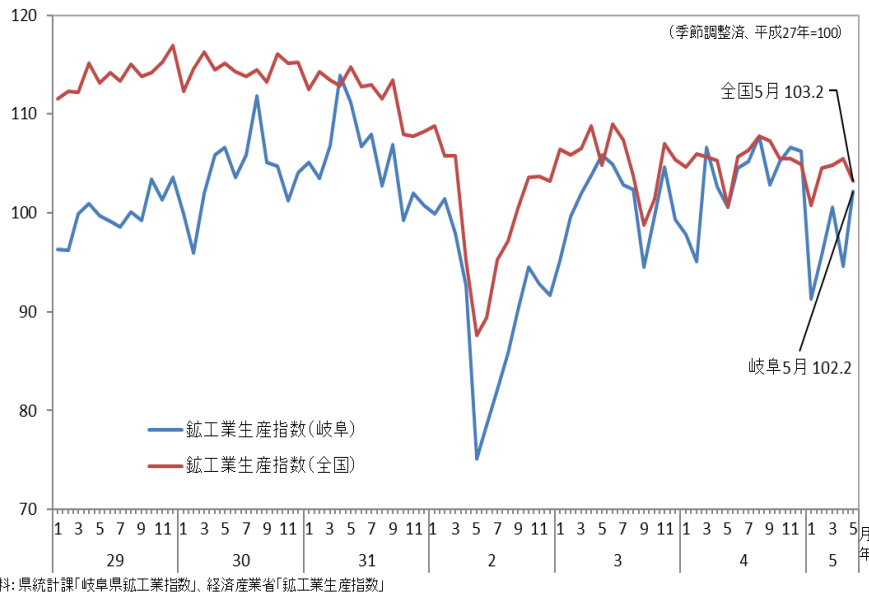
製造業

○5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、102.2で前月比8.0%上昇となった。

○産業別の前月比では、化学工業、電気機械、プラスチック製品工業、窯業・土石、鉄鋼業、輸送機械、はん用、金属製品で上昇した一方で、非鉄金属で低下した。

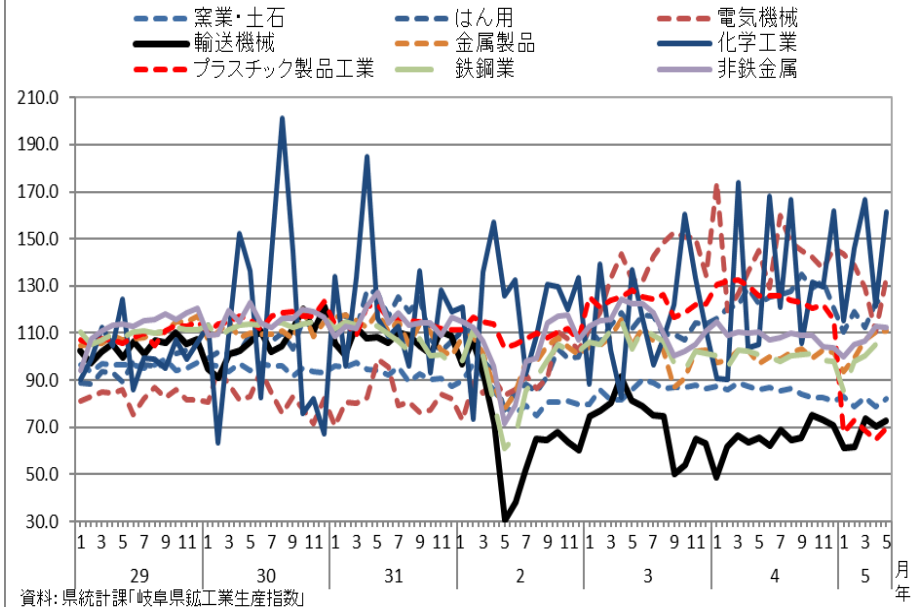
○5月の主な産業の指数は、化学工業で前月比32.5%、電気機械で同20.8%、プラスチック製品工業で同7.4%、窯業・土石で同4.1%、鉄鋼業で同2.9%、輸送機械で同2.8%、はん用で同2.2%、金属製品で同0.5%上昇した一方で、非鉄金属で同▲0.2%となった。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済、平成27年=100)



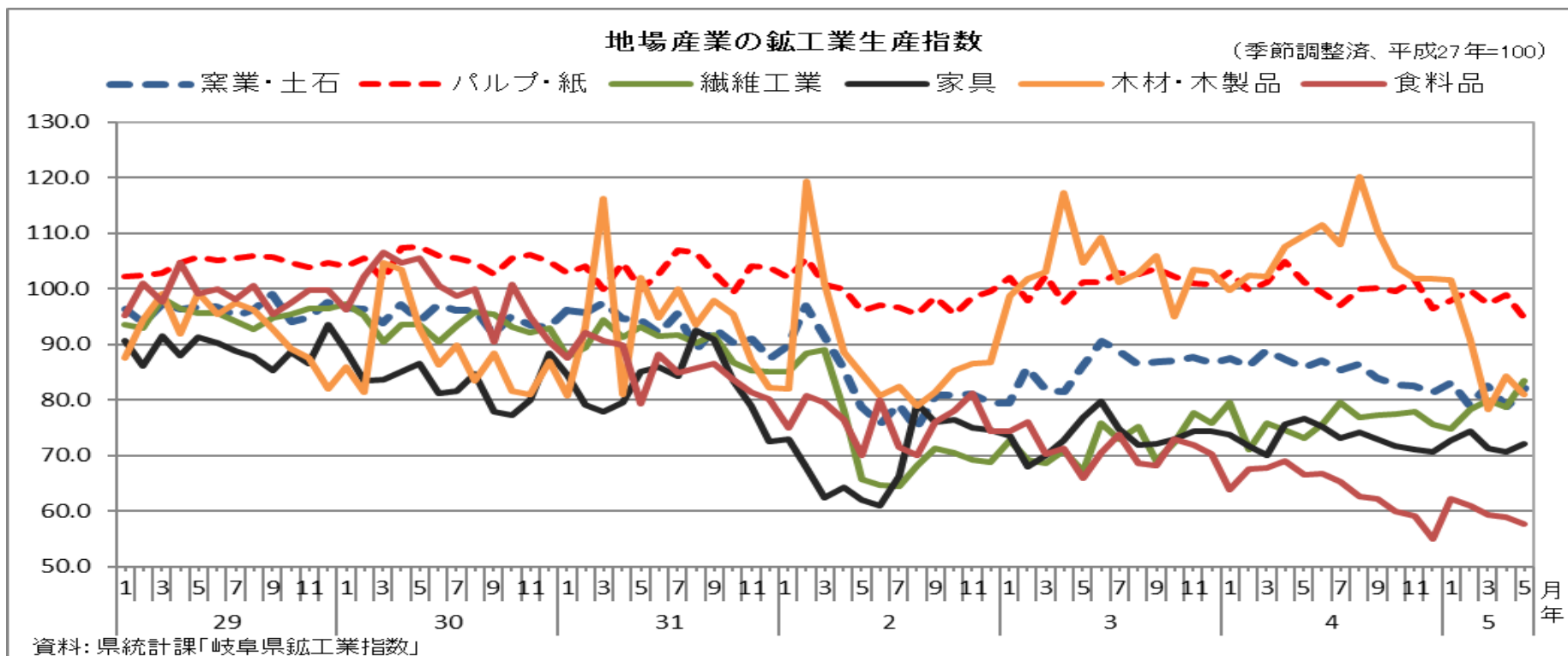
現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 大手自動車メーカー増産により、売上が前年よりも増加している。コロナ前との比較では売上は同程度であるが、相次ぐ原材料の高騰により、利益は減少している。(輸送機械器具、非鉄金属)
- ◆ 半導体不足の影響は回復傾向にあるものの、その動きに勢いが無い。また、依然として価格転嫁が追い付かず、収益は悪化している。(輸送機械器具、はん用機械器具)
- ◆ 中国の景気悪化への懸念により、中国工場の生産調整を行っている。(輸送機械器具、非鉄金属)

製造業-2

○5月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、繊維工業で前月比6.1%、家具で同2.1%上昇した一方で、パルプ・紙で同▲4.0%、木材・木製品で同▲3.7%、食料品で同▲2.2%となった。



現場の動き

(※原油・原材料高騰、海外情勢等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ コロナ禍では高価格、高付加価値商品の落ち込みが激しかったが、販路拡大や新商品の開発が奏功し、直近では売上、利益とも前年よりも増加している。(刃物)
- ◆ コロナの5類移行により海外からの商談や受注が増えており、生産管理が忙しくなっている。(刃物)
- ◆ 原材料費や人件費が上昇しているが、価格競争が激しいため、価格転嫁は困難な状況。このため、商品構成の変更を検討している。(繊維・アパレル)
- ◆ 売上はコロナ前に戻っておらず、コスト削減により何とか利益を出している状況。(紙、木工、食品)

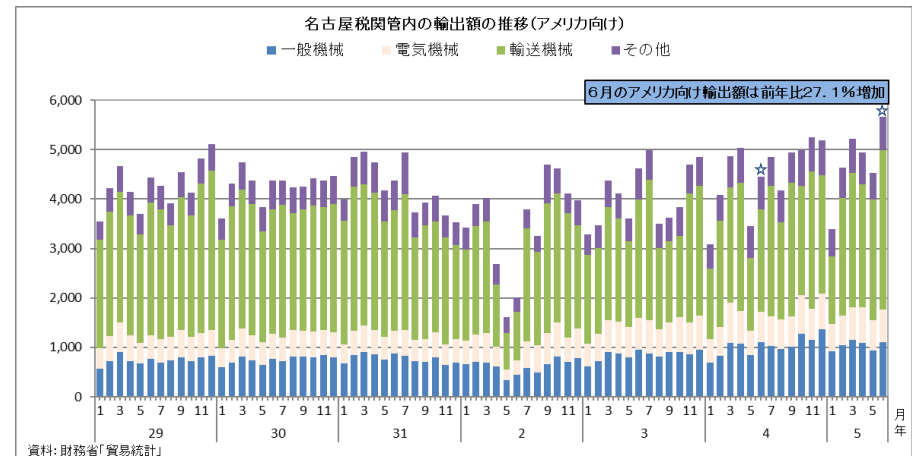
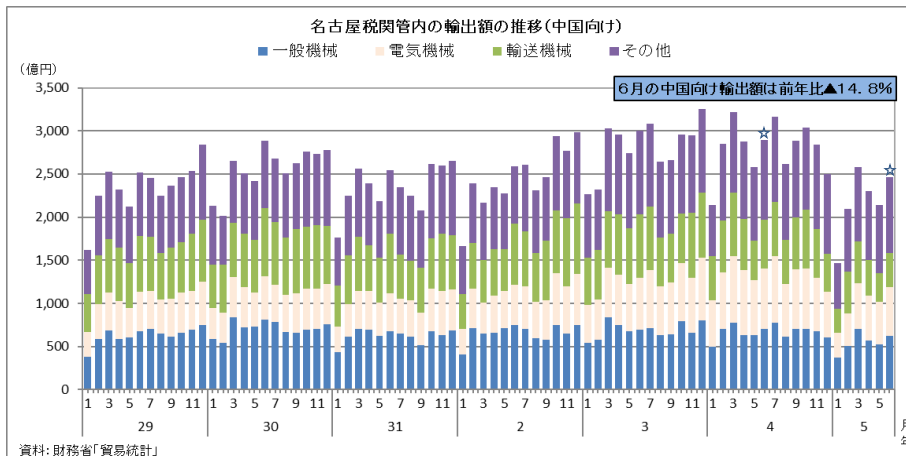
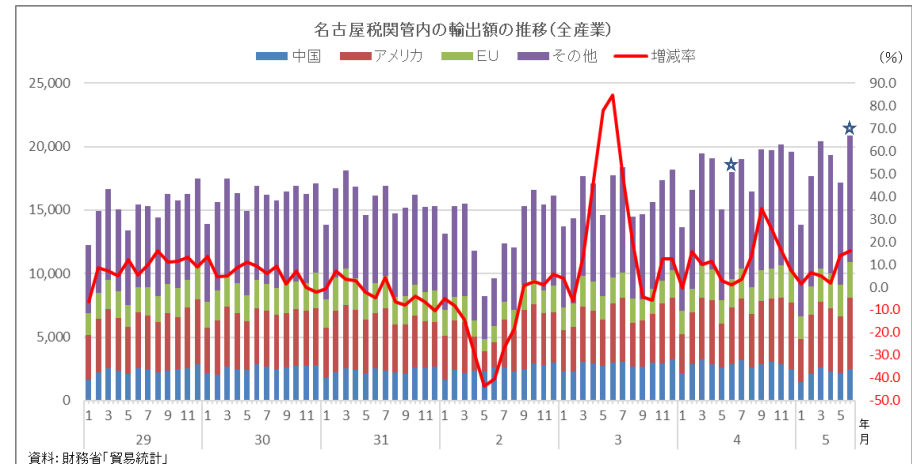
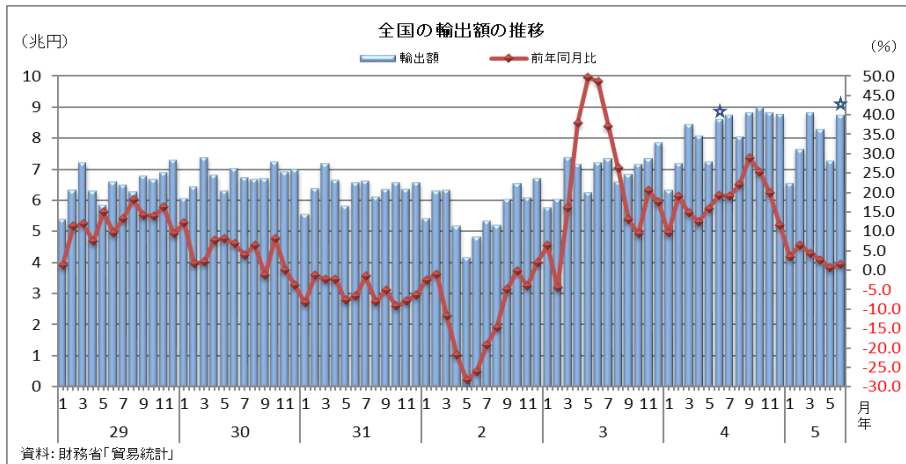
輸 出(名古屋税関管内)

○6月の輸出額(全国)は、8兆7,438億円で前年同月比1.5%増加した。

○6月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆856億円で前年同月比16.0%増加し、17ヶ月連続で前年同月を上回った。

○中国向けは、全体で前年同月比▲14.8%となった。その内、輸送機械で同▲30.1%、電気機械で同▲18.4%、一般機械で同▲12.1%となった。

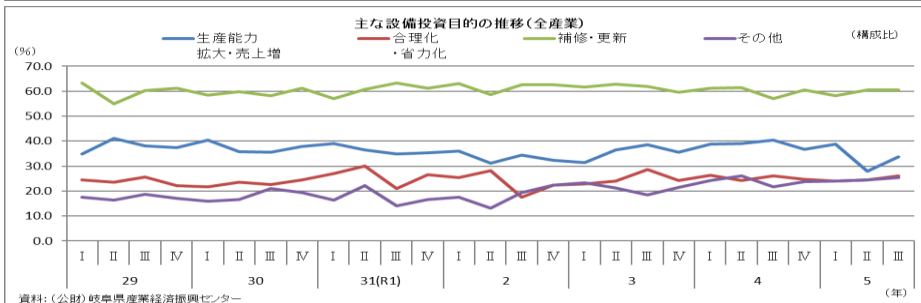
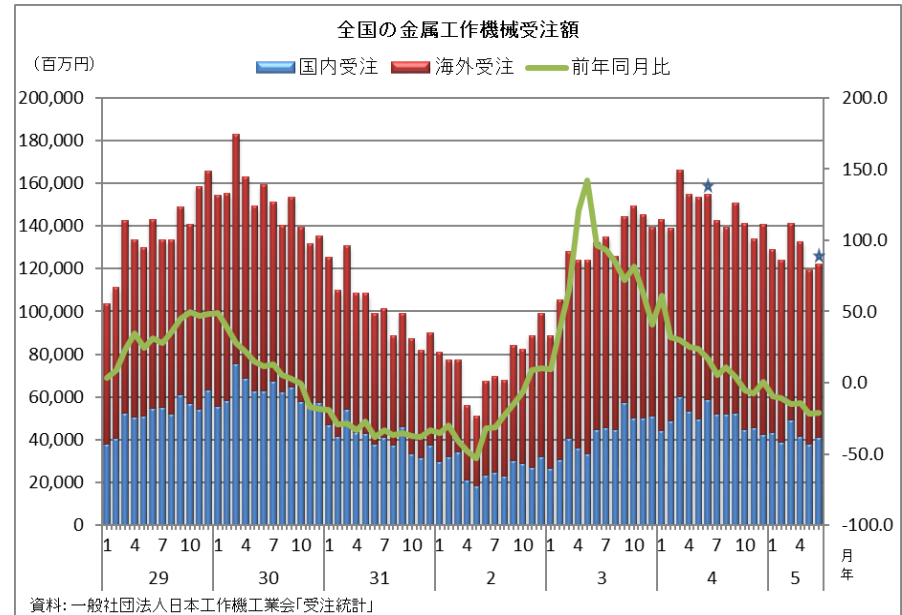
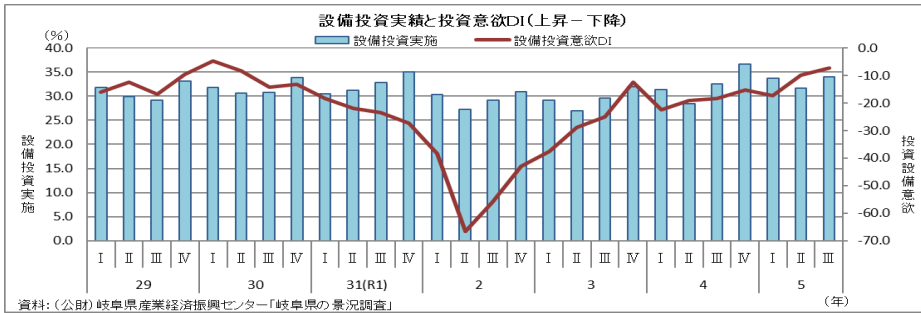
アメリカ向けは、全体で前年同月比27.1%増加となった。その内、輸送機械で同55.7%、電気機械で同6.5%増加した一方で、一般機械で同▲0.7%となった。



設備投資

○7-9月期の設備投資実施見通しは前期比2.4ポイント、設備投資意欲DI見通しは同2.7ポイント上昇となった。設備投資実施見通しの目的別では、「生産能力拡大・売上増」で前期比5.7ポイント、「合理化・省力化」で同1.8ポイント上昇した一方で、「補修・更新」で前期比低下した。

○6月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比▲21.1%と6ヶ月連続で前年を下回った。内訳は国内受注は同▲30.4%と10ヶ月連続で前年を下回り、海外受注は同▲15.5%と6ヶ月連続で前年を下回った。



現場の動き

(※原油・原材料高騰、円安等に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 電気代高騰への対策として、自社消費用太陽光パネルの設置を検討している。(輸送機械器具)
- ◆ 生産計画の遅れを取り戻すべく、積極的に設備投資を行っている。(輸送機械器具)
- ◆ 増産に対応すべく、工場の拡張工事を予定している。(輸送機械器具)
- ◆ 画像検査装置やロボットを活用し、生産工程の自動化を推し進めている。(電気機械器具)
- ◆ 環境に配慮した商材を製造するための新規設備を導入した。(プラスチック製品)
- ◆ 生産性向上を図るため、プラスチック射出成形機を省エネタイプへ更新した。(刃物)
- ◆ インボイス制度に対応したソフトウェアの更新を行った。(木工)

原油・原材料高騰に伴う経済変動の影響について

- ◆ 電気料金が前年比3割程度増加している。増産により売上は伸びるが、比例して電気代も増加するため、今後も利益を圧迫する状況が続くとみている。(輸送機械器具)
- ◆ アルミの価格が前年比3割程度上昇している。この影響は秋口まで続くとみている。(輸送機械器具)
- ◆ 3月期決算では、自動車関連部品は不調だったものの、家電分野が売上を伸ばし、売上は前年比3割増加。また、経費削減や価格転嫁が奏功し、加えて円安の恩恵もあり、利益は50%増加した。(電気機械器具)
- ◆ 仕入先からの原材料高騰による単価改定を受け入れているが、販売先への価格転嫁は困難であるため、自社で負担している。(非鉄金属)
- ◆ 電気料金の高騰分については、概ね価格転嫁に応じてもらっている。(電気機械器具)
- ◆ 燃料費や粘土などの原材料が高騰しているが、他社との差別化を図るため販売価格を据え置いており、利益率は減少している。(陶磁器)

海外情勢に伴う経済変動の影響について

- ◆ サプライチェーン安定化のため、中国以外の国のウエイトを増やす動きが高まっている。(非鉄金属)
- ◆ 昨年末より中国からの受注が停滞しているが、全体としては一定の受注があり、底堅く推移している。(生産用機械器具)
- ◆ 工作機械の受注が一時的に減少したものの、ここ最近の受注は安定している。しかし、中国の景気悪化により、中国向けの輸出が減少傾向にあり、今後を不安視している。(はん用機械器具)
- ◆ コロナ禍で減少した欧州やアジア諸国との取引が未だ回復しておらず、売上は若干減少している。今後もこの状況が継続すると予測している。(はん用機械器具)

その他のヒアリング

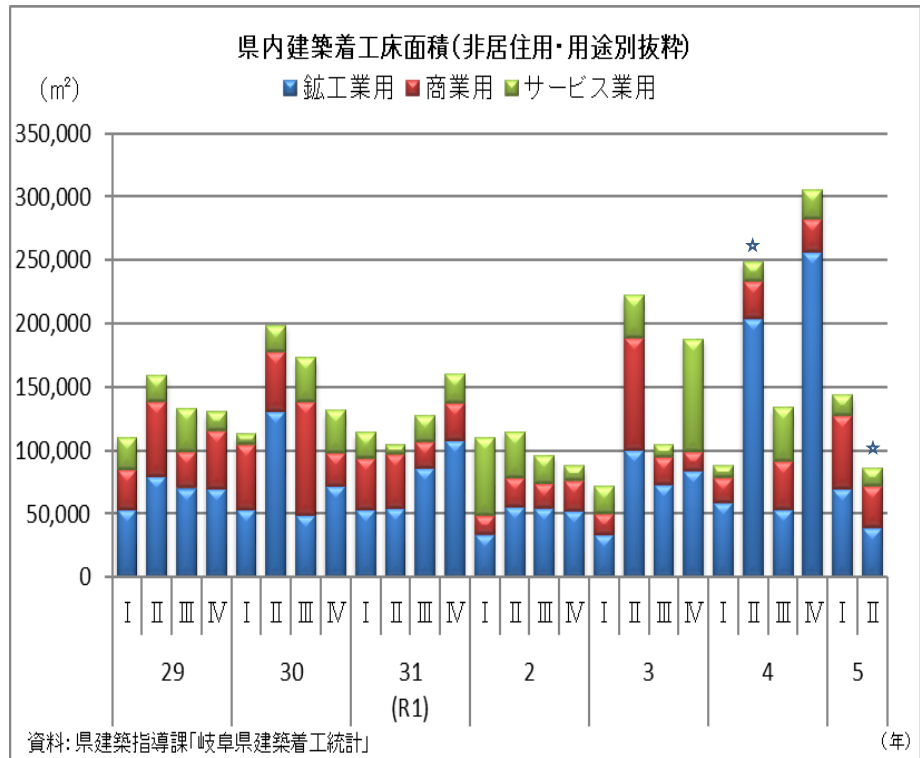
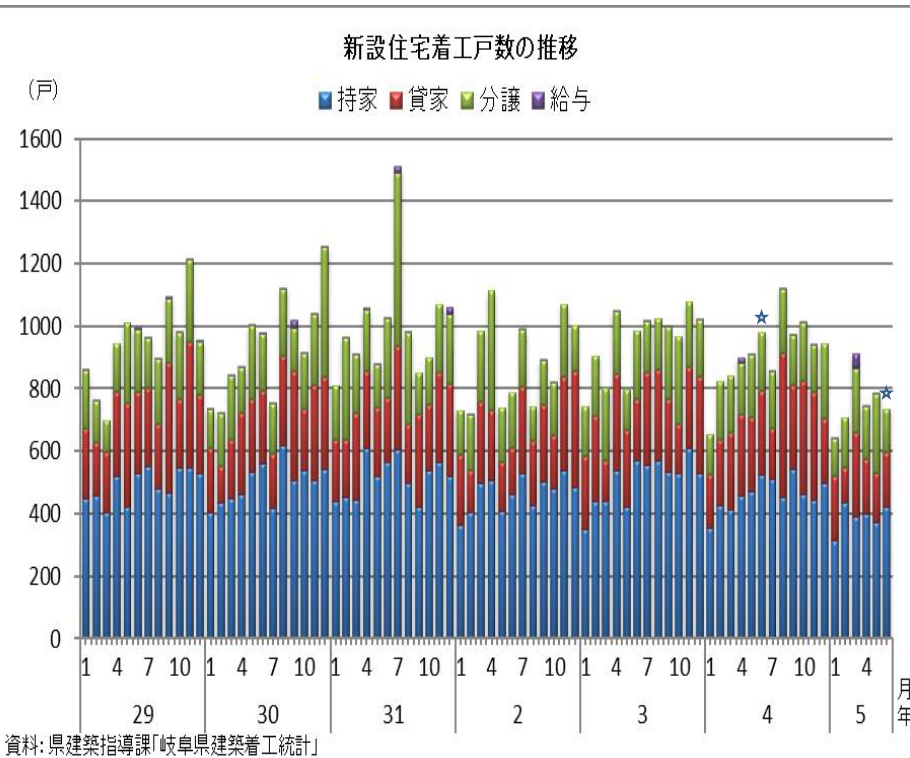
- ◆ 大型の鋳造設備で複数のアルミ部品を1つのパーツとして成型し、巨大な車体部品を作る「ギガキャスト」を大手自動車メーカーが用いることを発表した。プレス部品メーカーが直接的な影響を受けることが予想される。(輸送機械器具)
- ◆ 精密機械や自動車向け製品の受注が回復傾向にあり、生産量が増加している。(プラスチック製品)

住宅・建築投資

○6月の住宅着工戸数は、前年同月比▲24.8%となった。

○貸家で前年同月比▲34.7%、分譲で同▲25.9%、持家で同▲19.5%となった。

○4-6月期の非居住用の建築着工床面積は、商業用で前年同月比10.1%増加した一方で、鉱工業用で同▲80.9%、サービス業用で同▲7.3%となり、全体で同▲65.5%となった。

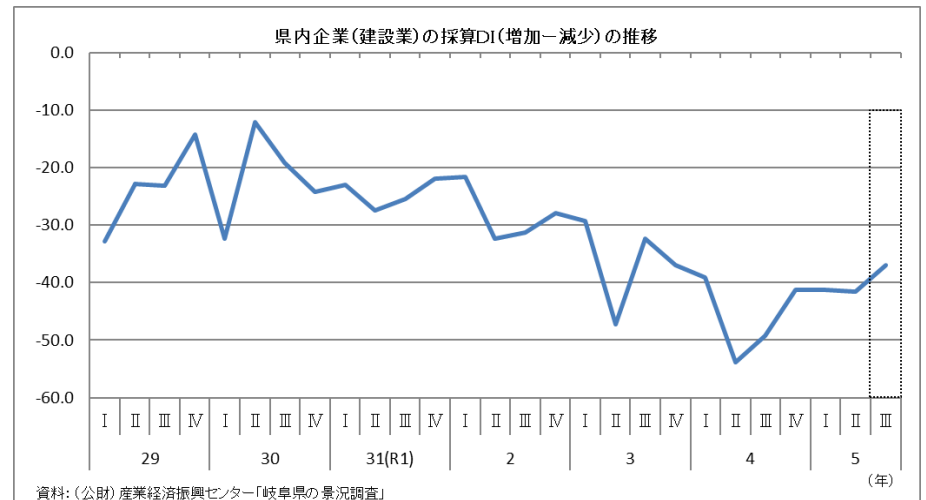
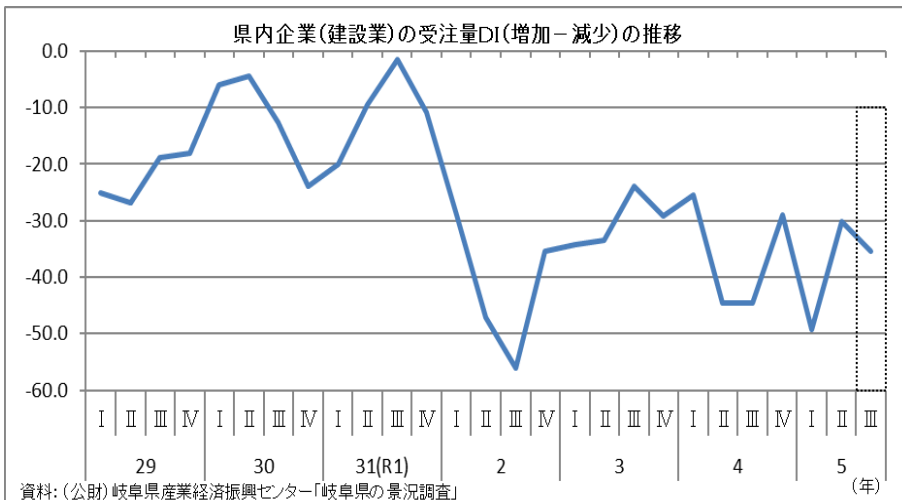
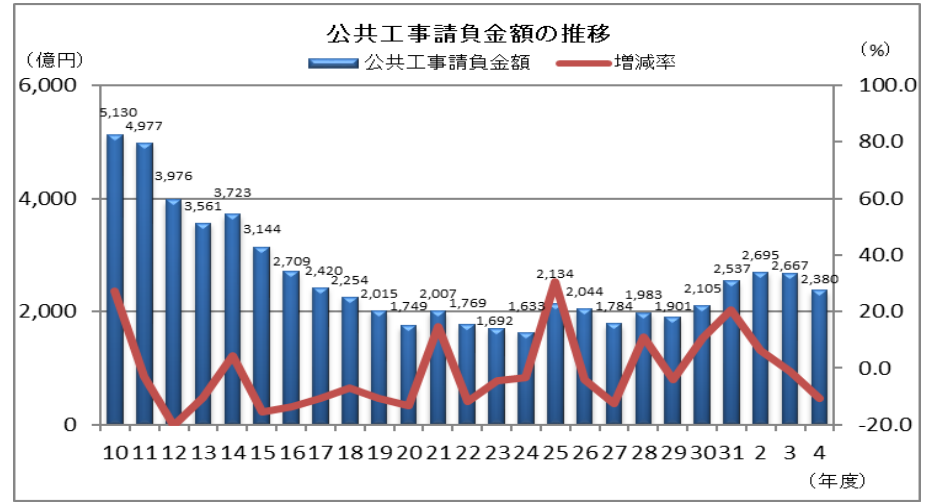
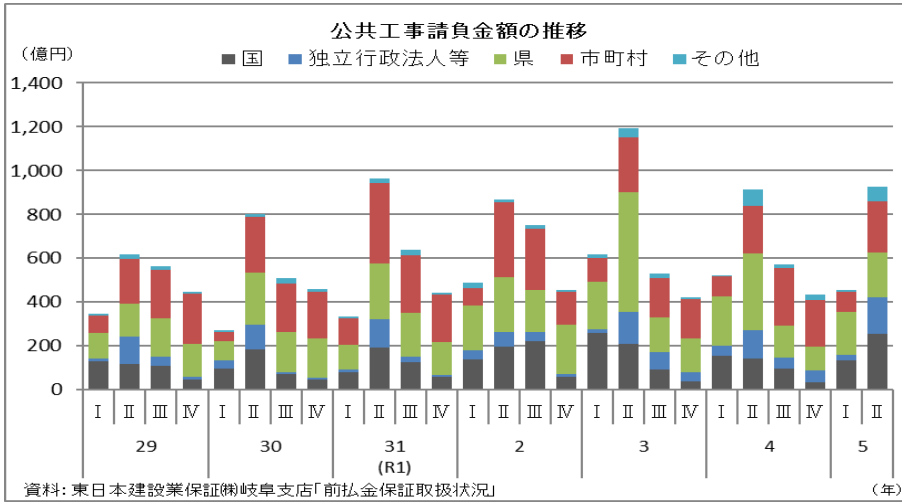


現場の動き

- ◆ 物価高の影響により、昨年に比べ契約数が落ち込んでいる。展示場への来場者も減少傾向にある。(住宅)
- ◆ 固定費が増加している中、木材の需要減少により木材価格が下がり続けているため、価格転嫁は取引先から理解が得られない。今後も厳しい状況が続くとみられる。(組合)
- ◆ コロナ前よりも販売価格は上昇しているものの、物価高により製造原価が上昇しており、経営環境はコロナ前よりも厳しい。(卸売)

公共工事

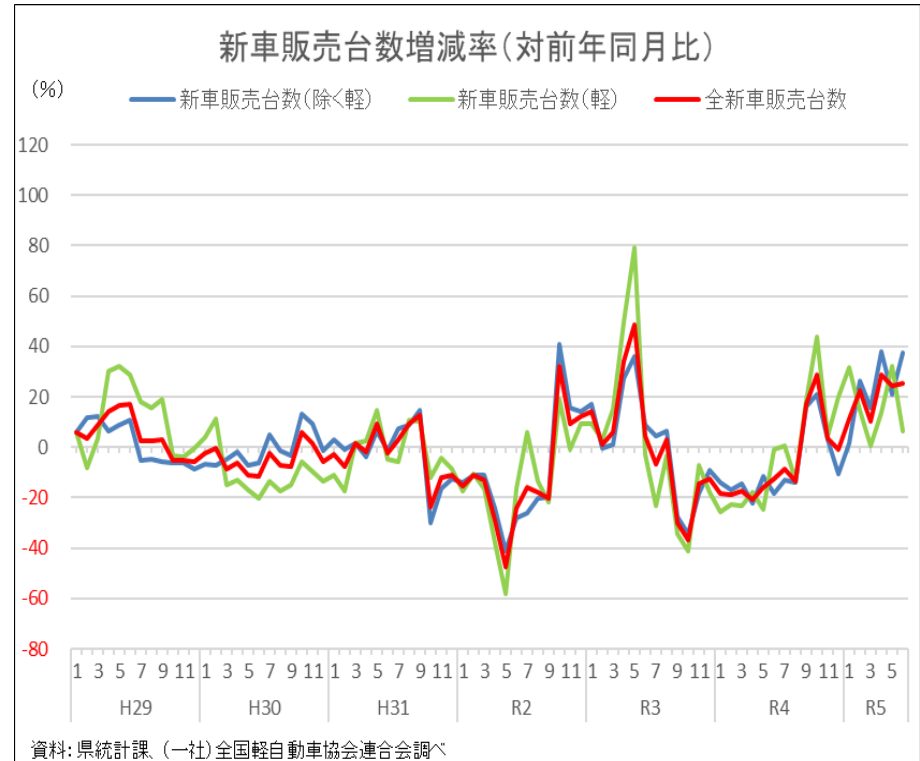
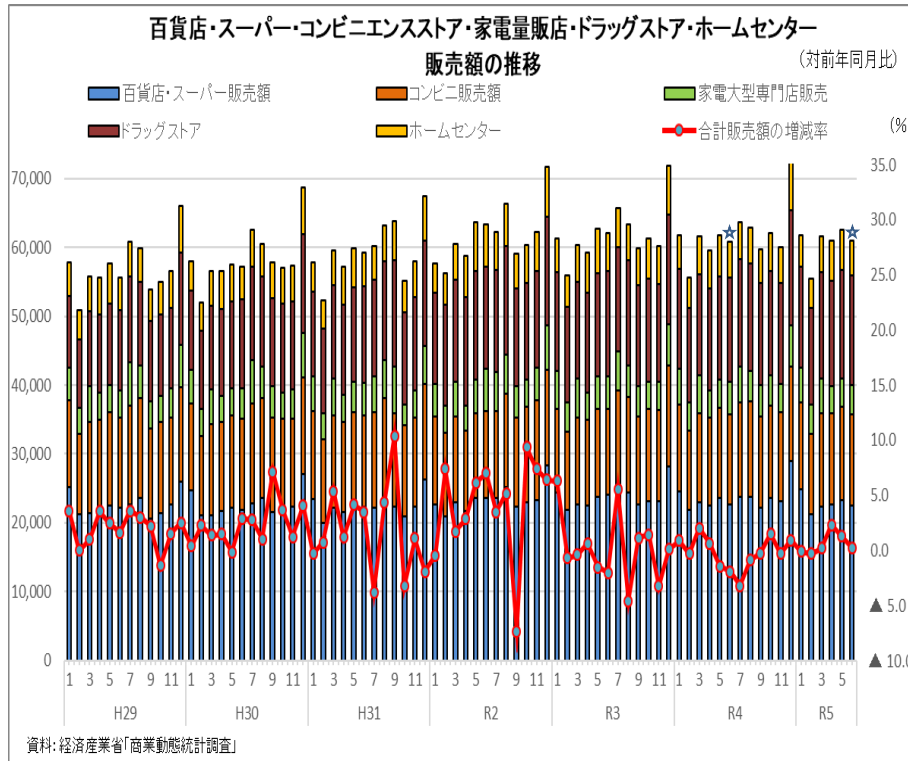
- 4-6月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比78.4%、独立行政法人等で同31.4%増加、県で同▲42.7%となるなど、全体で同1.3%増加となった。
- 県内建設業の7-9月期の受注量DI見通しは前期比▲5.4ポイントとなり、同採算DI見通しは同4.6ポイント上昇となった。



個人消費(流通・小売)

○6月はドラッグストアで前年同月比6.6%、コンビニで同1.1%上昇した一方で、家電大型専門店と同▲10.9%、ホームセンターで同▲4.4%、百貨店・スーパーで同▲1.0%となり、全体で同0.3%上昇となった。

○6月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比37.6%増加と6ヶ月連続で前年同月を上回った。軽自動車は同6.5%増加と10ヶ月連続で前年同月を上回った。合算では同25.6%増加と、前年同月を6ヶ月連続で上回った。



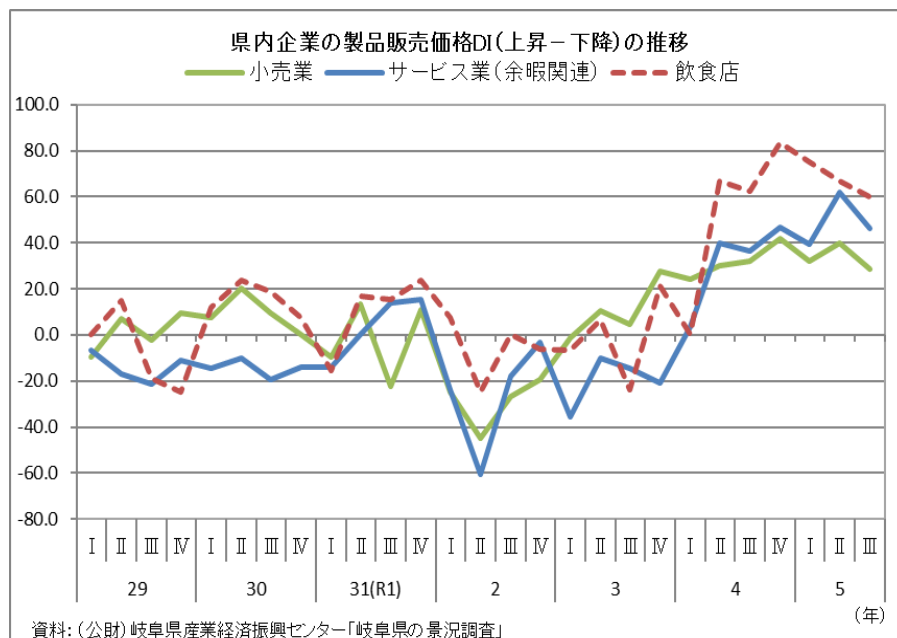
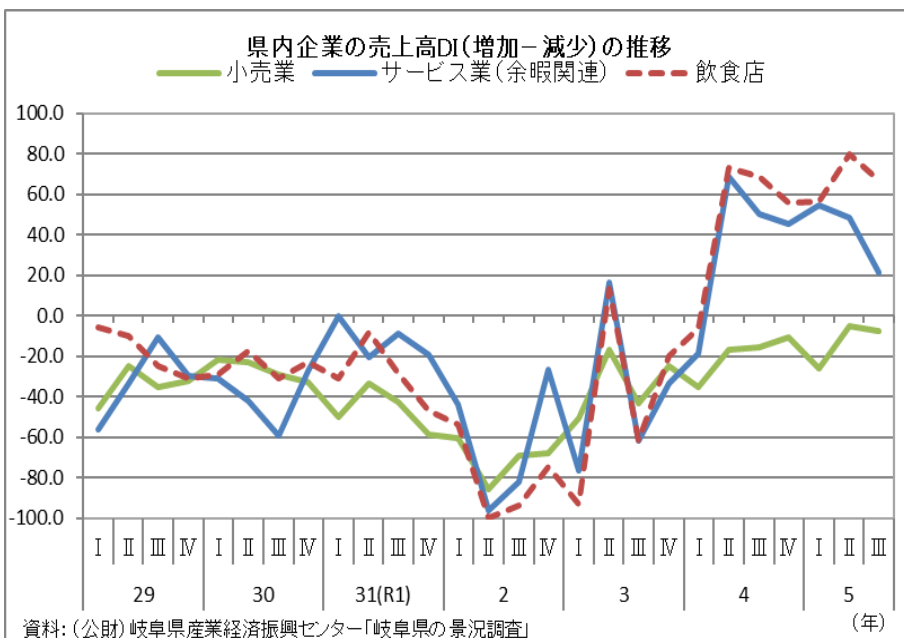
現場の動き

- ◆ 生鮮食品スーパーの売上はコロナ前と比較し2倍近くと好調。
- ◆ 飲食店はコロナ前の売上にはまだ達していないものの、回復傾向にある。
- ◆ ファッション店舗は、梅雨や猛暑の影響により低調に推移。
- ◆ 原材料やエネルギー価格高騰により、収支が悪化している店舗が多く見受けられる。 (以上、県内商業施設)

個人消費(流通・小売)－2

○7－9月期の売上高DI見通しは、サービス業(余暇関連)で前期比▲26.9ポイント、飲食店で同▲13.3ポイント、小売業で同▲2.5ポイントとなった。

○同じく販売価格DI見通しは、サービス業(余暇関連)で同▲15.7ポイント、小売業で同▲11.3ポイント、飲食店で同▲6.7ポイントとなった。

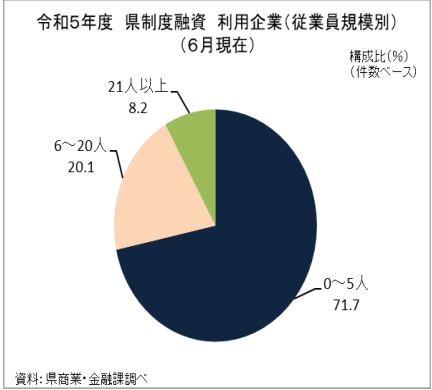
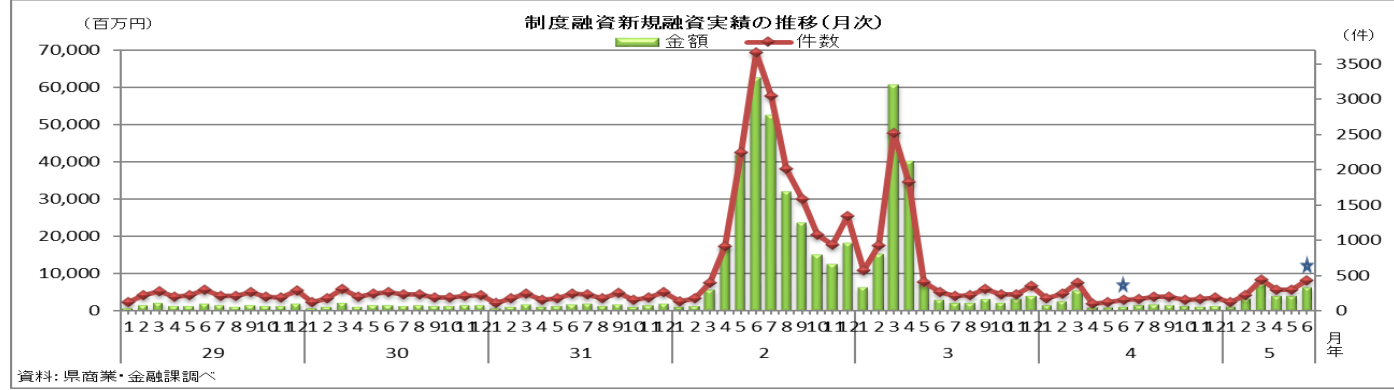
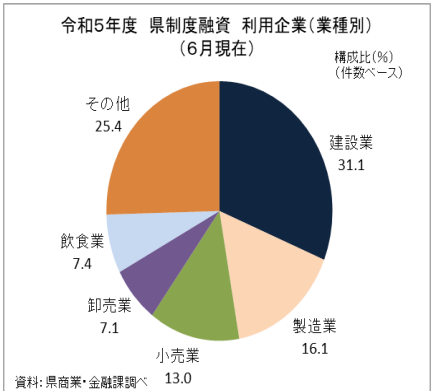
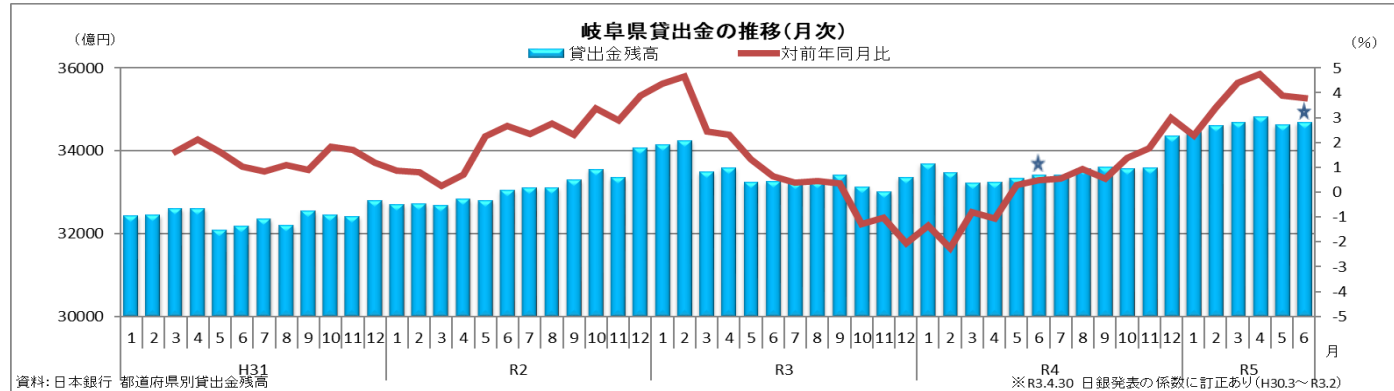


現場の動き

- ◆ 毎月イベント(柳ぶら楽市等)開催時は来街者が増えているが、猛暑日が続いていることや、インバウンド需要がみられないことから、イベント開催日以外の人通りは少ない。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 連日の猛暑により来客が減少していることや、物価高により消費者マインドが減退していることから、売上は前年と比較し減少している。(柳ヶ瀬商店街、大垣市商店街)
- ◆ ガソリン価格が再び上昇しており、配送業務に悪影響を与えている。(大垣市商店街)
- ◆ 外国人観光客はますますの入込みであるが、猛暑の影響により、日本人観光客の人出は少ない。夏休みの旅行需要に期待している。(高山市商店街)
- ◆ 飲食店の客数が回復しており、それに伴う卸売の売上が増加している。(多治見市商店街)

資金繰り

○6月の岐阜県貸出金残高は、3兆4,690億円 で前年同月比3.8%増加し、14ヶ月連続で増加。
 ○6月の制度融資実績は、金額が6,536百万円で前年同月比398.3%増加、件数は433件で同172.3%増加と、金額は5ヶ月連続で増加し、件数は4ヶ月連続で増加した。
 ○従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の71.7%を占めている。

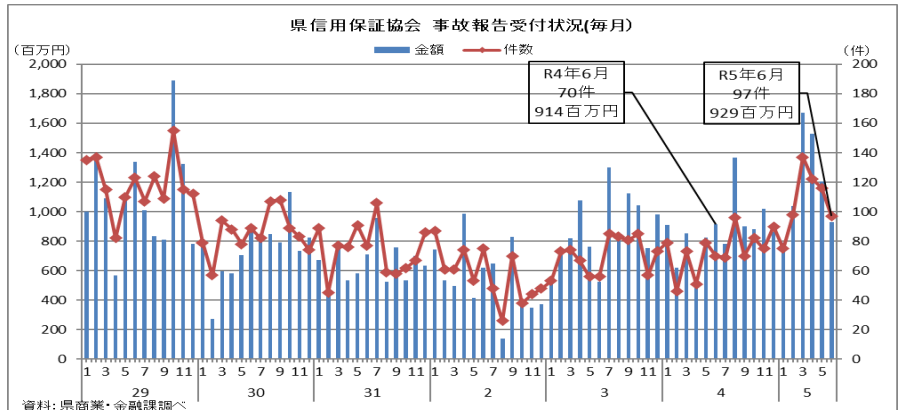
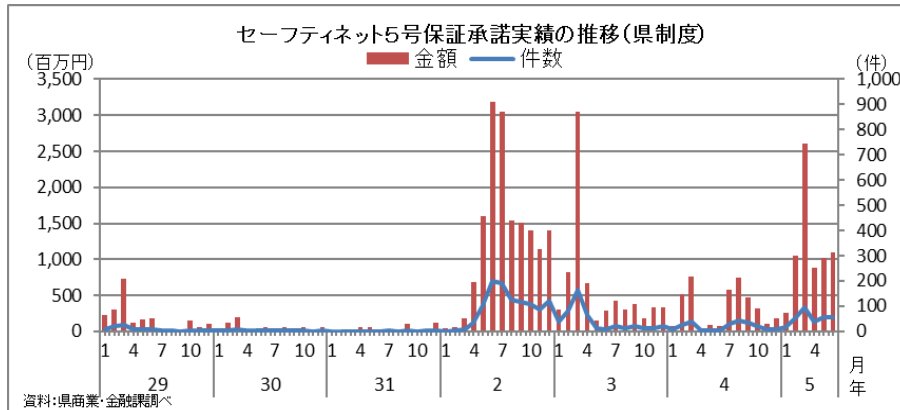
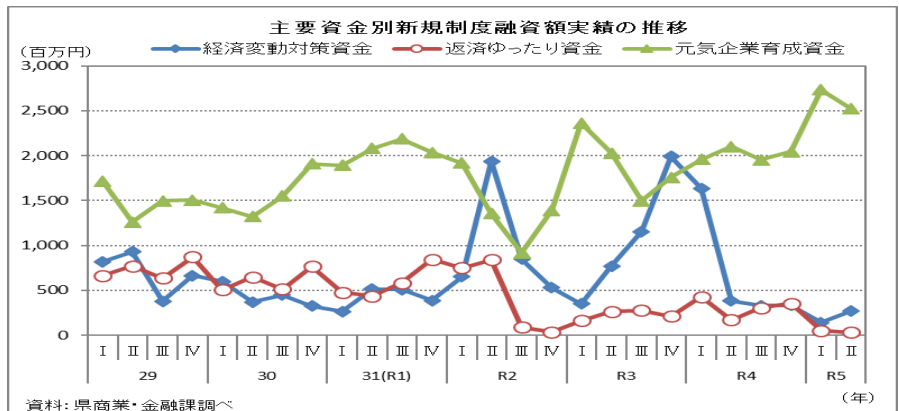
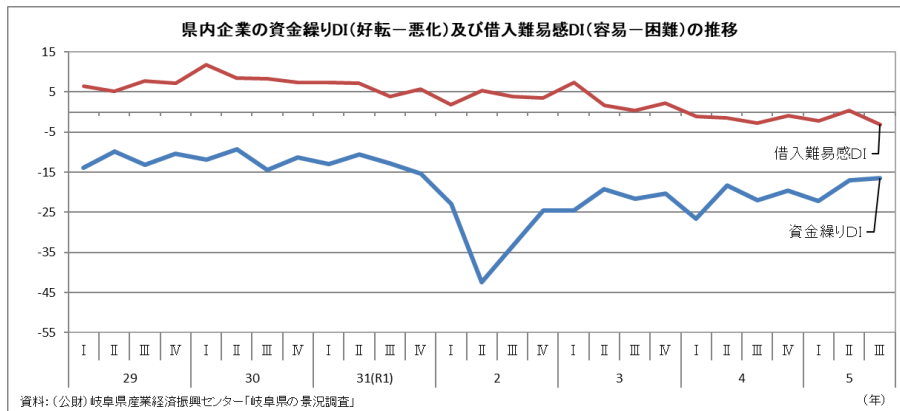


現場の動き

- ◆ ゼロゼロ融資を無利子期間内に全額繰上返済する事業者が増えている。一方、ゼロゼロ融資を借り換え、長期運転資金とする事業者も多い。
- ◆ 長期・短期資金とも多くの利用があり、資金ニーズは根強い。
- ◆ 規模の大きいものではないが、倒産がちらほら発生している。今後の動向を注視している。(以上、金融機関)

資金繰り-2

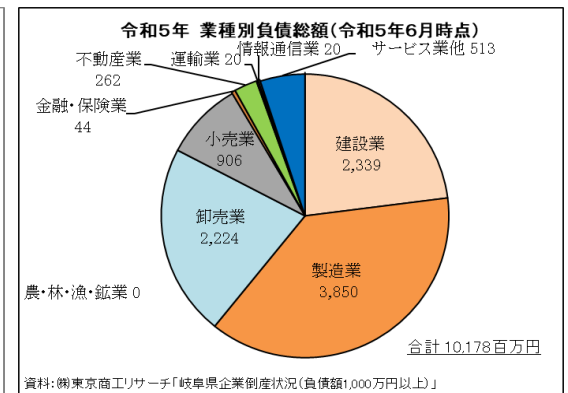
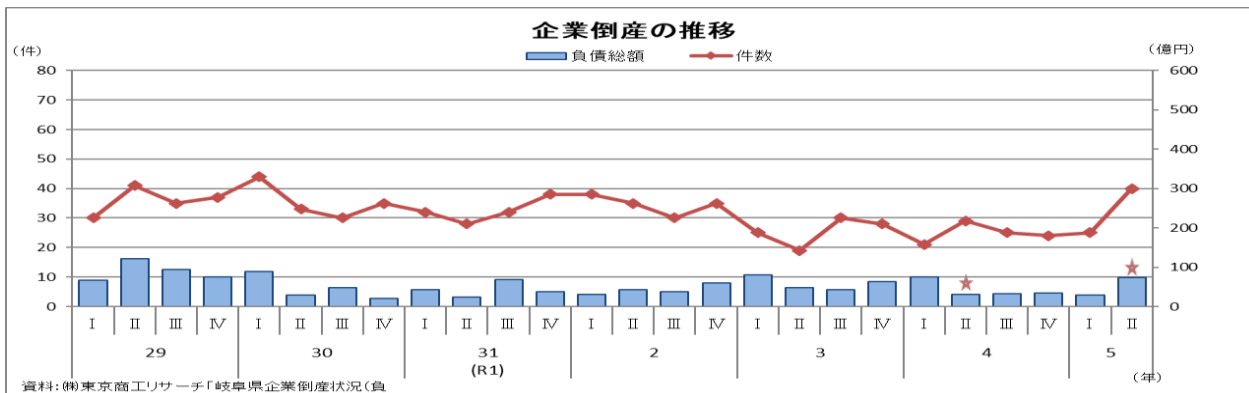
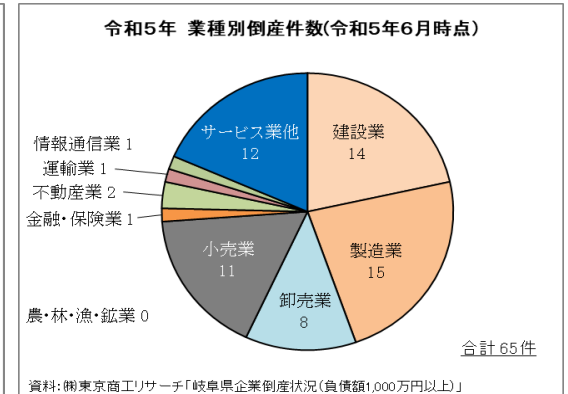
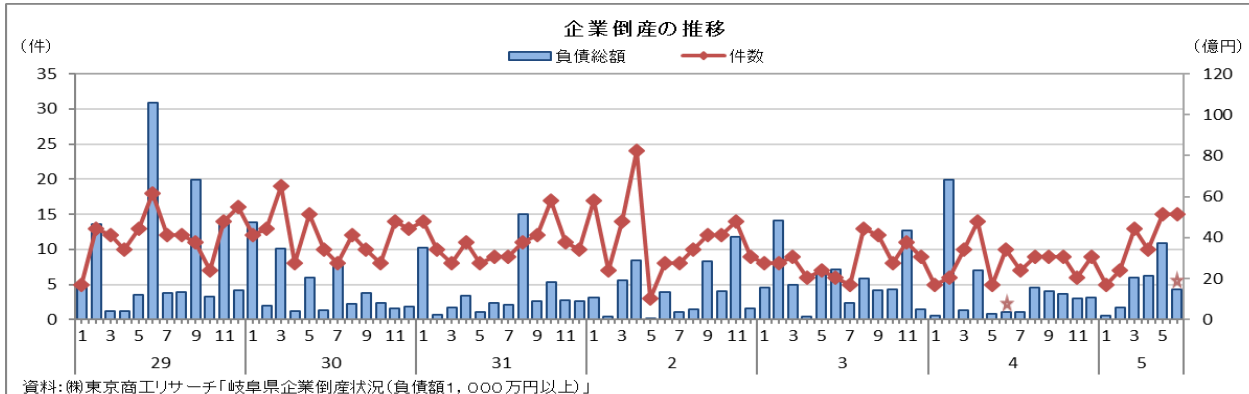
- 7-9月期の資金繰りDI見通しは▲16.5で、前期比0.5ポイント上昇となった。同借入難易感DI見通しは▲3.1で、同▲3.5ポイントとなった。
- 4-6月期の主要資金別新規制度融資実績は、元気企業育成資金で前年同期比20.1%増加と5期連続で増加したものの、返済ゆったり資金で同▲82.4%と2期連続で減少、経済変動対策資金で同▲30.1%と5期連続で減少した。
- 6月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が57件で前年同月比1,800.0%増加、金額は1,092百万円で同1,356.0%増加となった。
- 6月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は97件で前年同月比38.6%増加、金額は929百万円で同1.6%増加となった。



倒産

○6月単月の倒産件数は前月比±0件増加の15件、負債総額は前月比▲2, 224百万円の1, 494百万円となった。

○令和4年6月は負債総額1億円以上の倒産は1件発生し、令和5年6月は同倒産5件と4件増加。負債総額は前年同月比896百万円増加の996百万円となった。



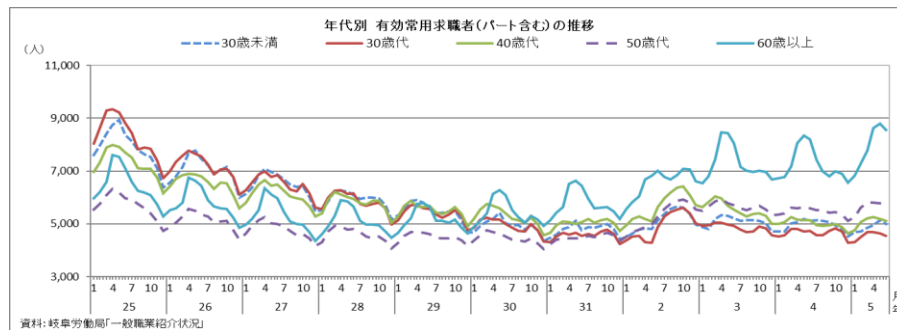
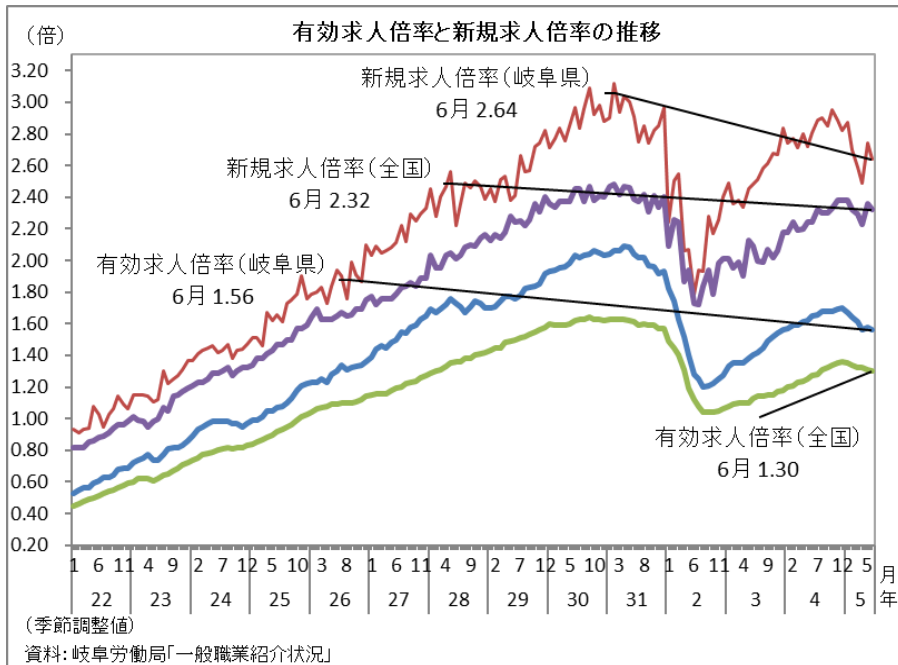
専門機関の分析(東京商工リサーチ・7月18日時点)

- ◆ 経済情勢としては、新型コロナウイルス感染症の分類見直しによる制限緩和から経済活動は正常化に向かい、個人消費の活発化やインバウンド需要の拡大が期待される。一方、エネルギー価格や原材料価格の高騰に伴う物価上昇による水道光熱費や物流コストの更なる増加が懸念される。このような環境においてコストアップに苦しむ企業は多く、価格転嫁が難しい中小・零細企業の体力は消耗している。今後の見通しにおいては、円安や資材価格・光熱費などの上昇で企業のコスト負担は増え、人件費も増加。価格転嫁がスムーズに行えず体力が限界に達し、資金調達も得られない企業の脱落が進むものと推察され、倒産件数の増勢懸念は一段と高まっている。

雇用

- 6月の有効求人倍率は1.56倍と、前月比▲0.02ポイントとなった。
- 6月の新規求人倍率は、2.64倍と前月比▲0.10ポイントとなった。

- 6月の雇用保険受給者人員は、前月比5.3%となった。
- 有効常用求職者は、40歳代以下で、前年同月比で減少した。



現場の動き

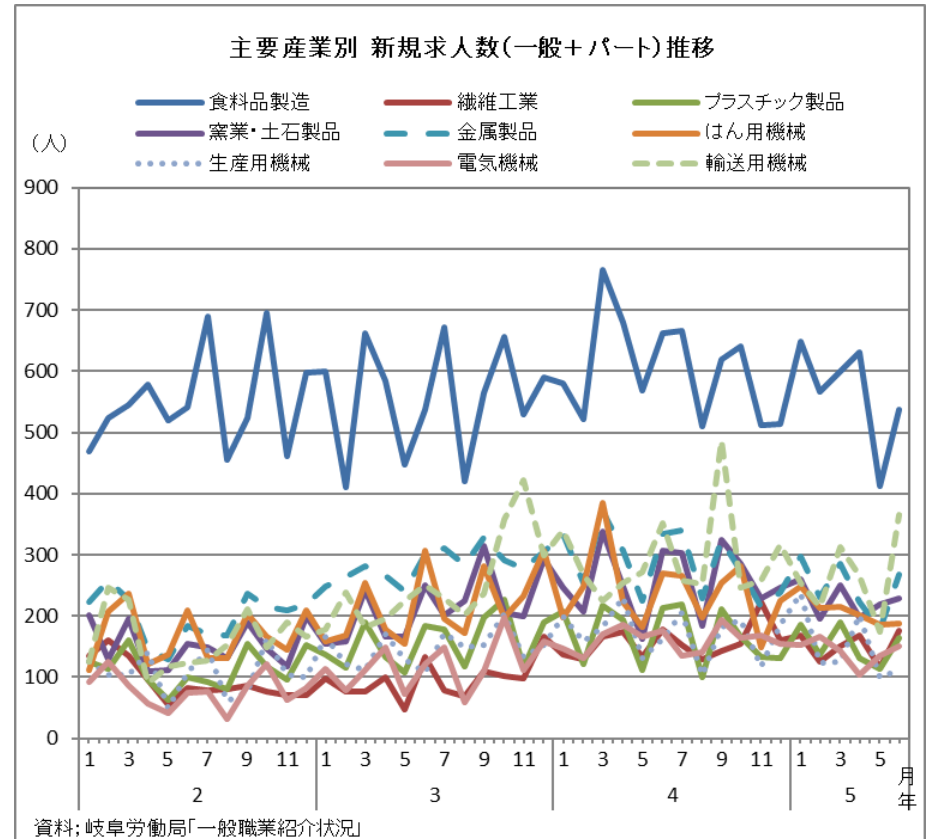
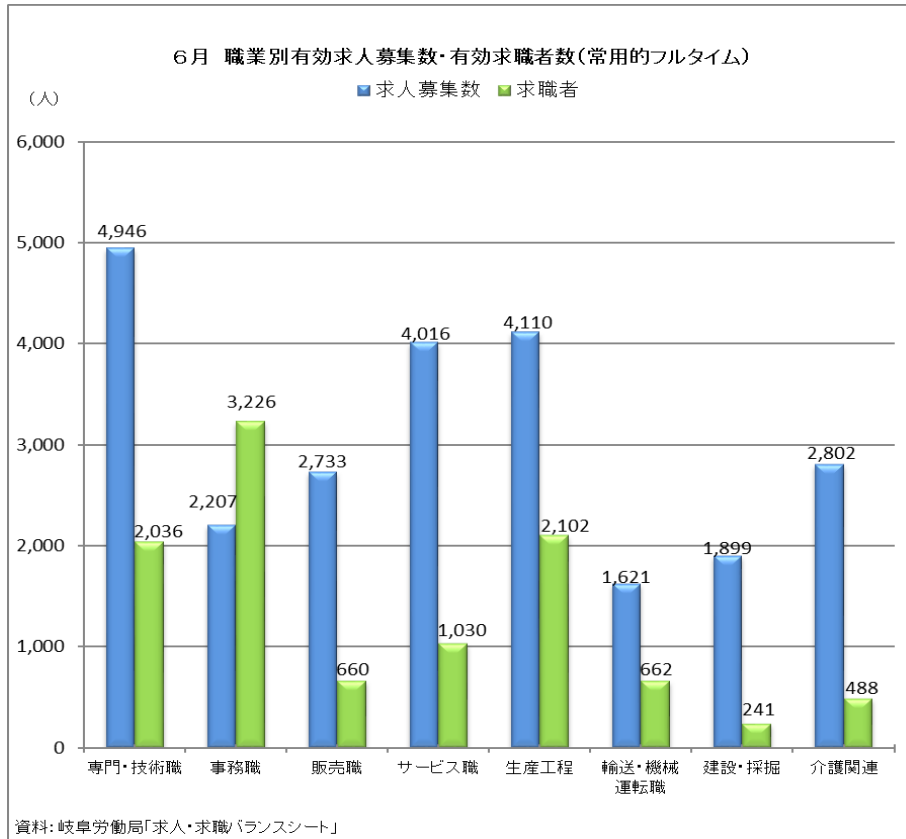
- ◆ 自動車関連の受注は回復傾向にあるが、今後人手不足による納期遅延となる恐れがある。(生産用機械器具)
- ◆ 専門職の確保が課題。社内での人材育成と即戦力となる経験者の採用を進めている。(木材卸売)
- ◆ 飲食店やスーパーで人手不足が続いている。特に飲食店では人材確保が非常に困難な状況。(商業施設)
- ◆ コロナの規制緩和により、外国人労働者の採用は容易になった一方、日本人労働者の採用は困難な状況が続いている。(非鉄金属)
- ◆ 人手不足の状況下で短納期の仕事が増えており、配置転換により対応している。(生産用機械器具)
- ◆ 来年度の新卒採用活動は応募者が少なく、低調で推移している。(生産用機械器具)
- ◆ 人手不足感はあるが、派遣労働者やシルバー人材派遣により、何とかやり繰りしている。(刃物)

雇 用(職業別)

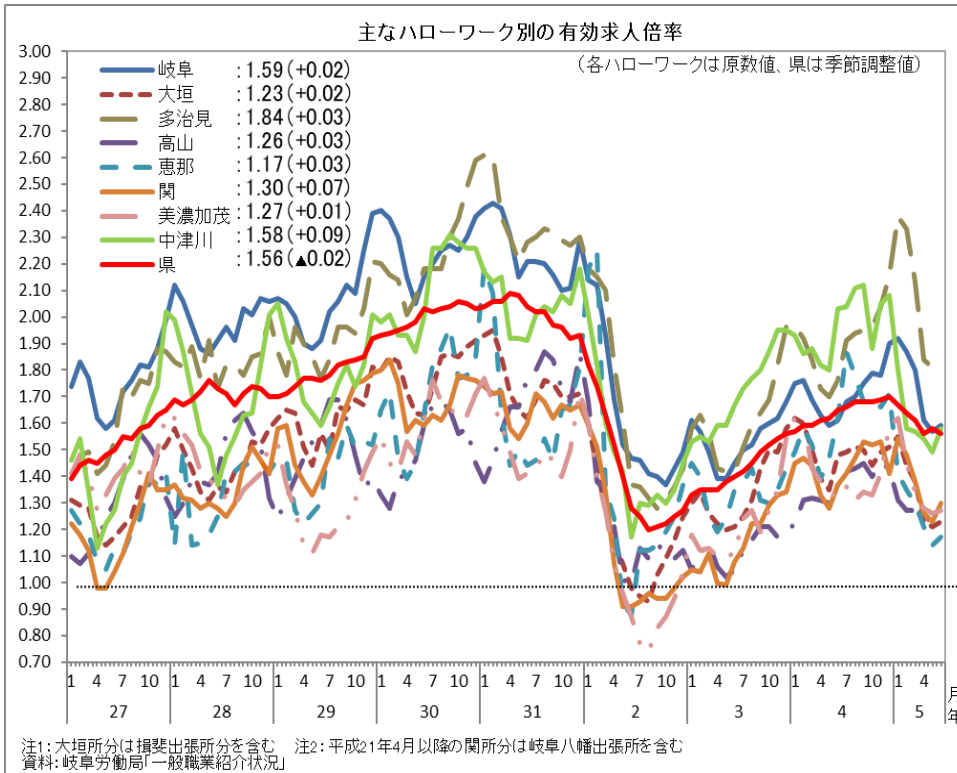
○有効求人倍率は、建設・採掘で7.88倍、介護関連で5.74倍、販売職で4.14倍、サービス職で3.90倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.68倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

○6月の主要産業別の新規求人数は、輸送用機械で前年同月比4.3%上昇した一方で、生産用機械で同▲30.9%、はん用機械で同▲30.1%、窯業・土石製品で同▲25.4%、プラスチック製品で同▲22.5%、金属製品で同▲20.3%、食料品製造で同▲18.7%、電気機械で同▲14.7%、繊維工業で同▲0.6%となった。



雇用(地域別)



〇6月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、全地域で上昇した。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数は減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<窓口の様子>※前月比

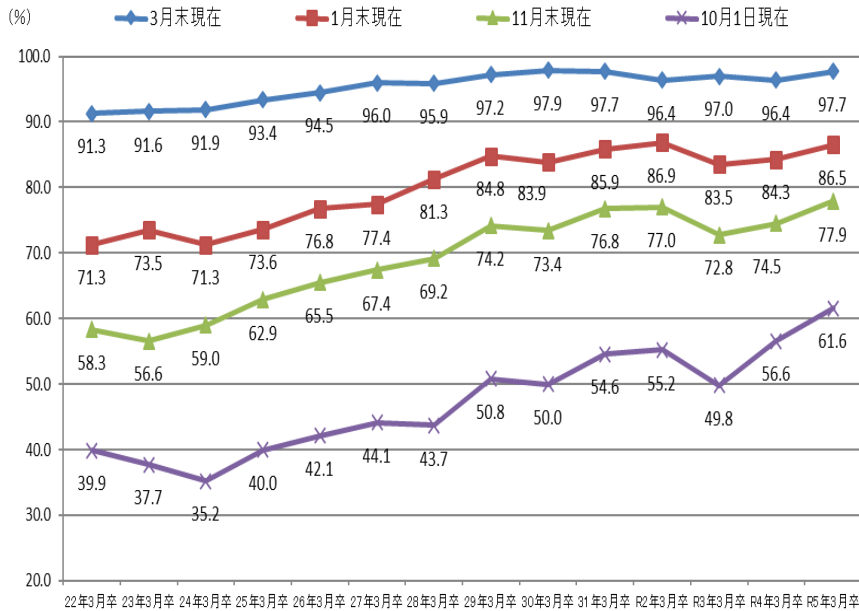
- ◆多治見、高山で混雑している、恵那でやや混雑している、関、美濃加茂、中津川で前月と同じくらい、大垣でやや空いている、岐阜で空いている状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

○岐阜県の令和5年3月末現在の大学・短大卒業者(令和5年3月卒業)の就職内定率は、97.7%であり、前年同時点と比べ1.3ポイント増加となった。

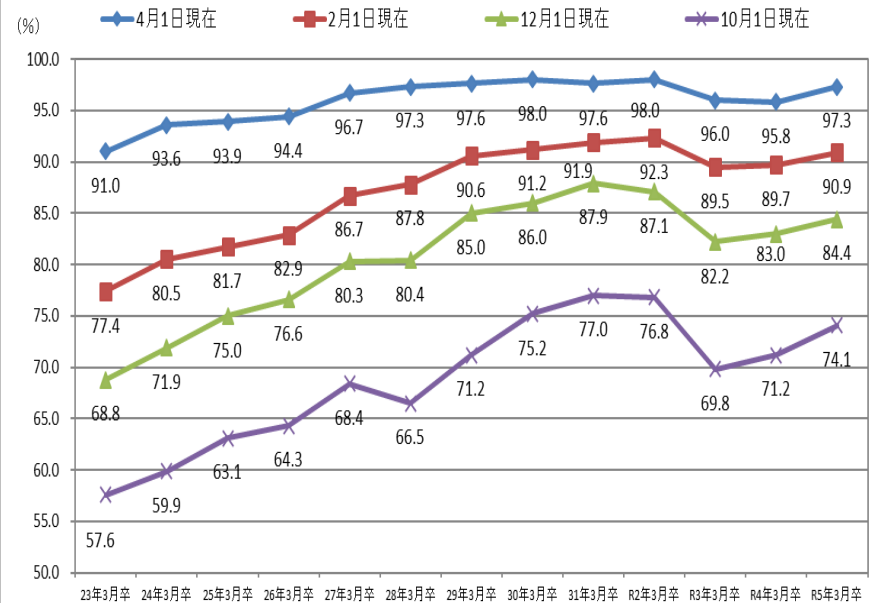
○全国の令和5年4月1日現在の大学卒業者(令和5年3月卒業)内定率は97.3%であり、前年同時点と比べ1.5ポイント増加となった。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



資料:岐阜労働局「新規学校卒業者(大学・短大)の就職内定状況」

新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



資料:厚生労働省「大学等卒業予定者の就職状況調査」

現場の動き(2024卒、2025卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

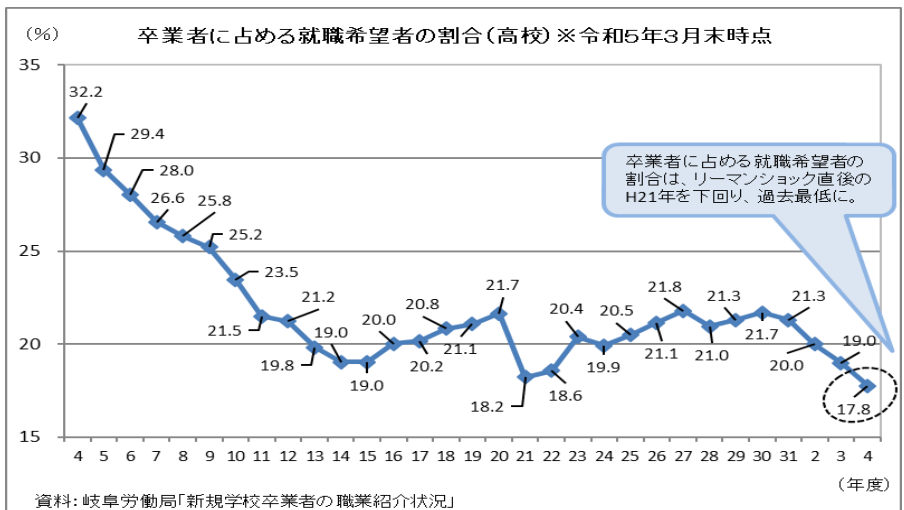
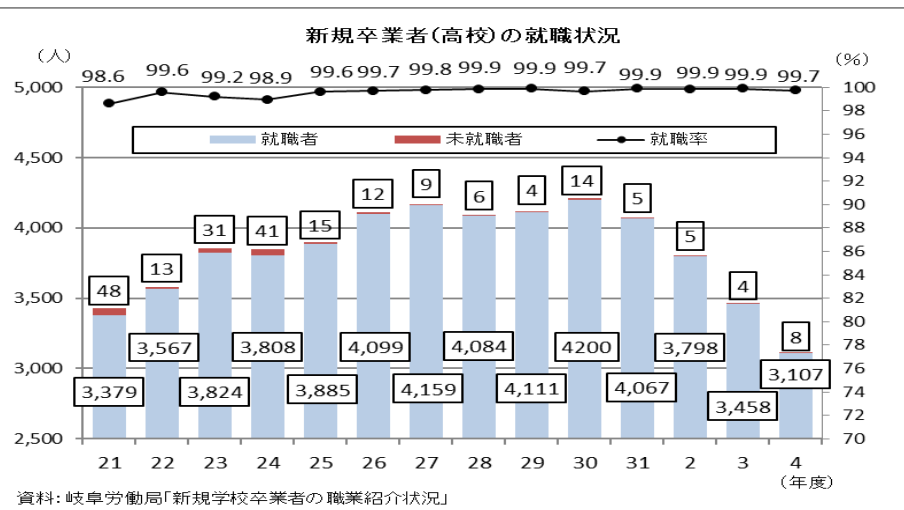
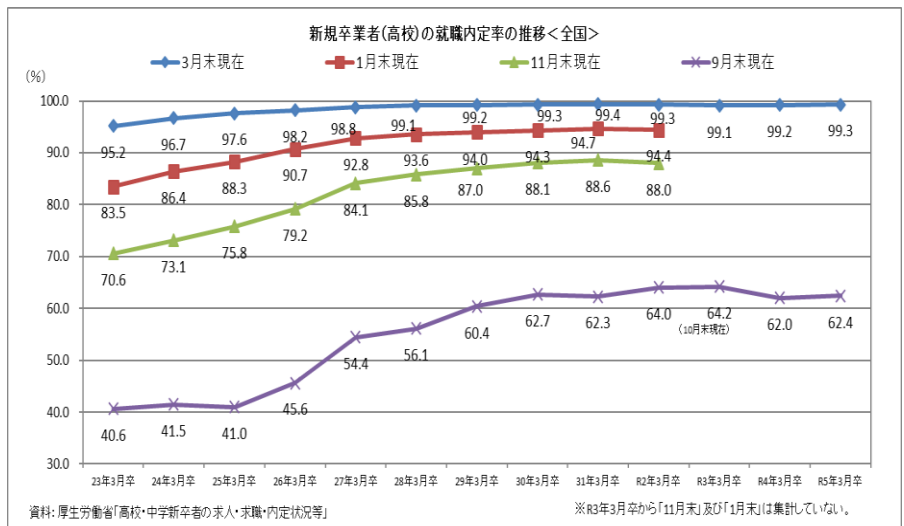
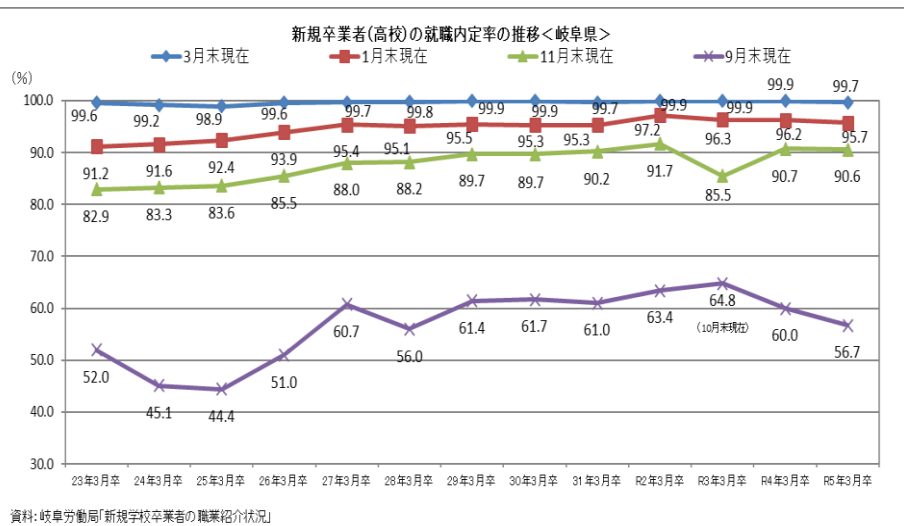
- ◆ 24年卒学生はまだ活動している者もいるが、全体的に落ち着いてきており、順調に推移している。
- ◆ 25年卒学生の相談は、インターンシップの選考やESに関することが多い。
- ◆ 25年卒学生のインターンシップ参加者は昨年よりも増える見込み。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

雇 用(高校新卒者の就職)

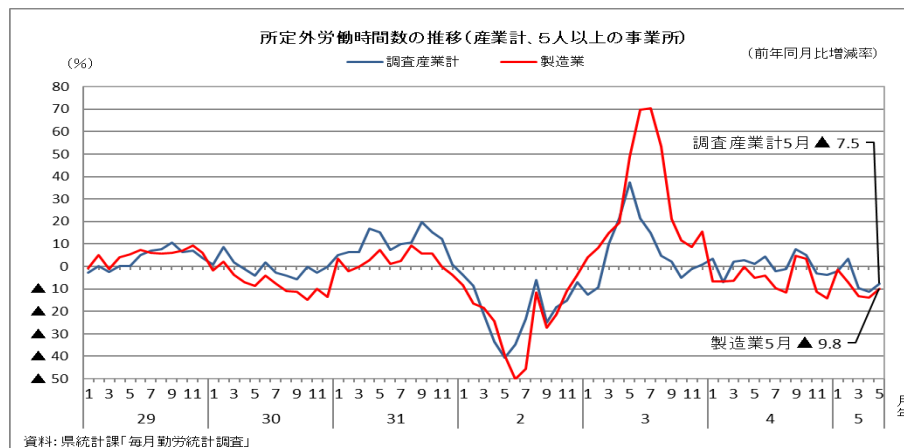
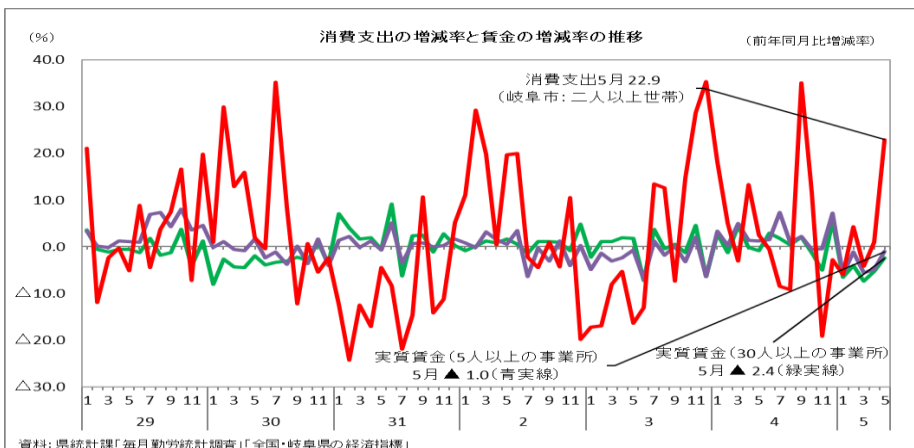
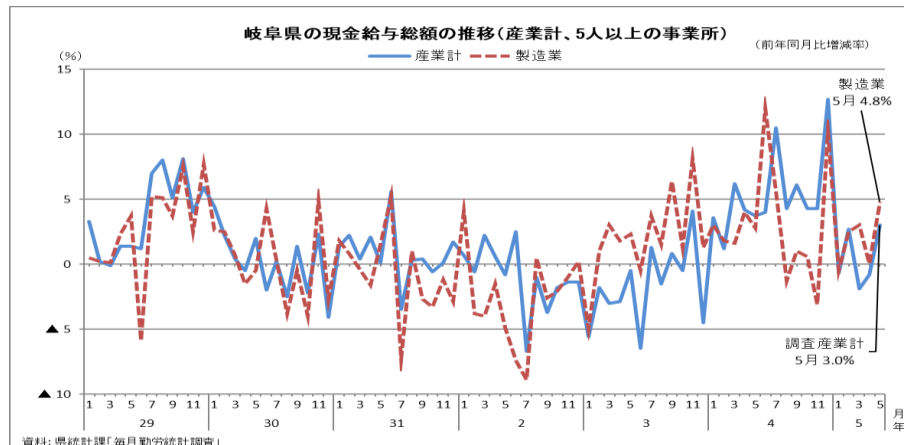
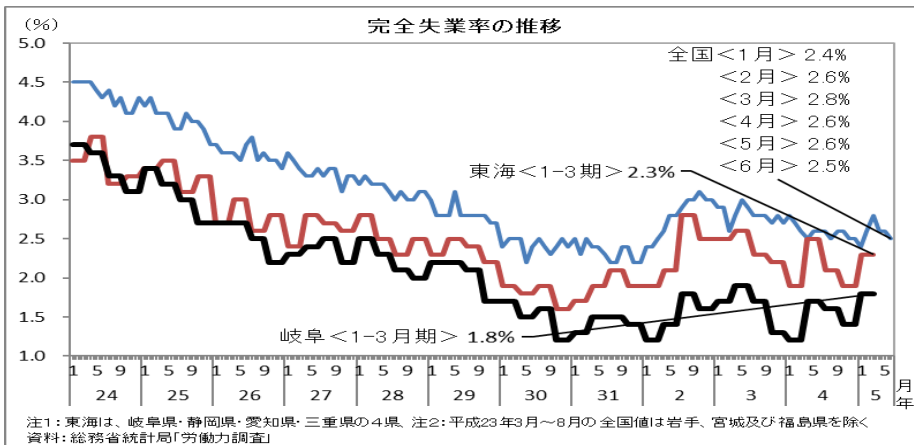
○岐阜県の令和5年3月末現在の高校卒業者(令和5年3月卒業)の就職内定率は99.7%であり、前年同時点と比べ▲0.2ポイントとなった。

○全国の令和5年3月末時点の高校卒業者(令和5年3月卒業)の就職内定率は99.3%であり、前年同時点と比べ0.10ポイント上昇した。



雇 用(完全失業率等)

- 全国の6月の完全失業率は2.5%で前月比▲0.1ポイントとなった。岐阜県の1-3月期の平均は1.8%で前期比0.4ポイント上昇となった。
- 5月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比3.0%、製造業で同4.8%となった。
- 5月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比▲2.4%となり、5人以上で同▲1.0%となった。5月の消費支出については同22.9%上昇となった。
- 5月の所定外労働時間数は前年同月比▲7.5%と、3ヶ月連続で低下した。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、5月の鉱工業生産指数は前月比8.0%上昇となった。ヒアリングでは、大手自動車メーカーの増産により受注が増加しているが、原材料の高騰により、利益は減少しているとの声や、中国の景気悪化懸念により生産調整を行っているとの声、更には、大手自動車メーカーが発表したEVの新しい生産技術「ギガキャスト」について、今後の対応を検討しているとの声が聞かれた。
- 地場産業は、5月の鉱工業生産指数は、繊維工業及び家具で上昇した。ヒアリングでは、コロナの5類移行により、海外からの受注が増加しているとの声や、販路拡大や新商品の開発が奏功し、売上・利益とも増加しているとの声が聞かれた一方で、依然として原材料や人件費が高騰しているが、価格転嫁が困難なため利益が減少しているとの声や、コスト削減により何とか利益を出しているとの声が聞かれた。
- 設備投資は、6月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比▲21.1%となった。ヒアリングでは、生産性向上を図るため、省エネタイプの設備を導入したとの声や、生産工程の自動化を進めているとの声、また、インボイス制度に対応したシステムの更新を行ったとの声が聞かれた。
- 個人消費は、6月の販売額は、ドラッグストア及びコンビニで前年同月比で上昇し、全体で同0.3%上昇となった。ヒアリングでは、スーパーの売上はコロナ前の約2倍と好調であるとの声が聞かれた一方で、物価高による消費者マインドの減退や猛暑の影響で売上が減少しているとの声や、なかなか価格転嫁ができず収支が悪化しているとの声が聞かれた。
- 観光は、6月の観光客数、宿泊者数はコロナ前の令和元年同月比▲17.3%、▲17.8%となった。宿泊施設からのヒアリングでは、外国人観光客の人出はあるものの日本人は少ないとの声や、宿泊客数が増加する中、人手不足により、稼働率を上げたくても上げられないとの声が聞かれた。
- 企業の資金繰りは、6月の制度融資実績は、金額は5ヶ月連続で増加した。金融機関からは、ゼロゼロ融資を長期運転資金として借り換える事業者が多いとの声や、倒産がちらほら発生しているため、今後の動向を注視しているとの声が聞かれた。
- 雇用面は、6月の有効求人倍率は1.56倍と22ヶ月連続で1.50倍を超えた。ヒアリングでは、コロナの規制緩和により外国人労働者の採用は容易になったが、日本人労働者の採用は困難な状況が続いているとの声や、人手不足により納期遅延となる恐れがあるとの声、人手不足の状況下で短納期の受注が増えており、配置転換により対応しているとの声が聞かれた。